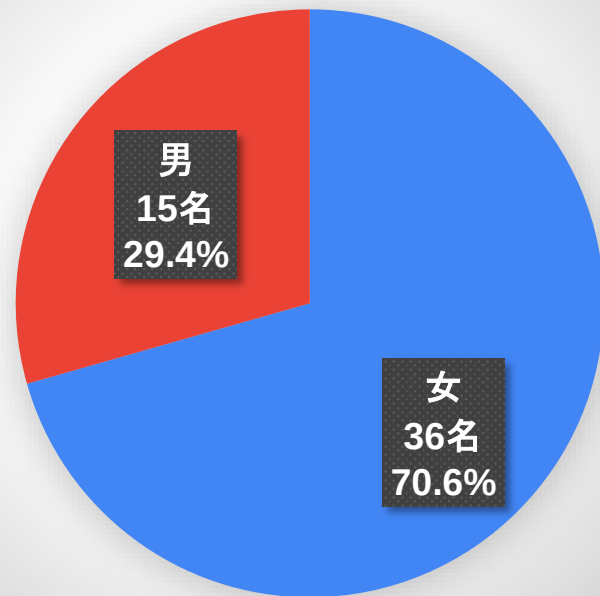
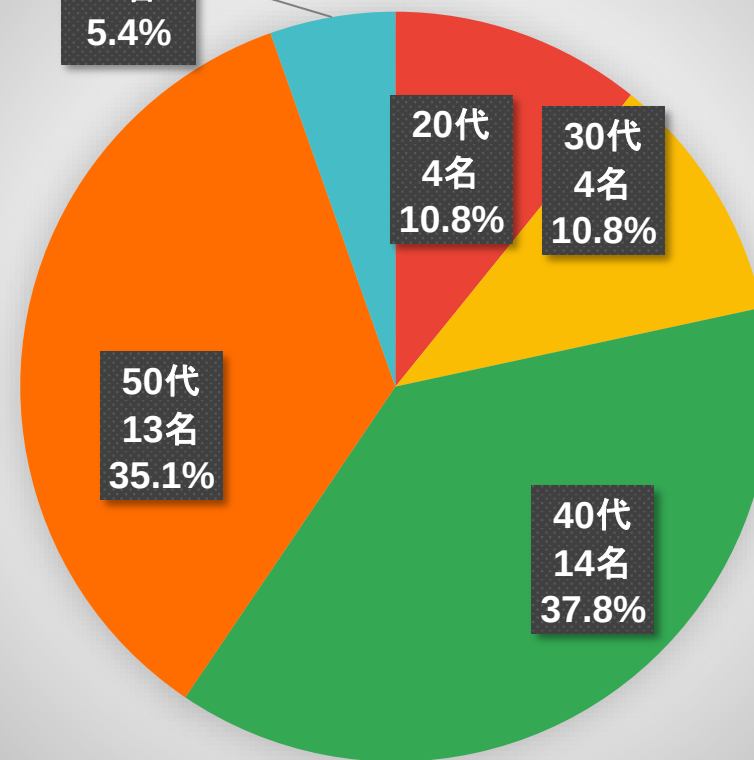


令和6年度 認知症研修会(R7.2.4) 参加者アンケート集計結果

Q 1 - 1 : 性別 ※



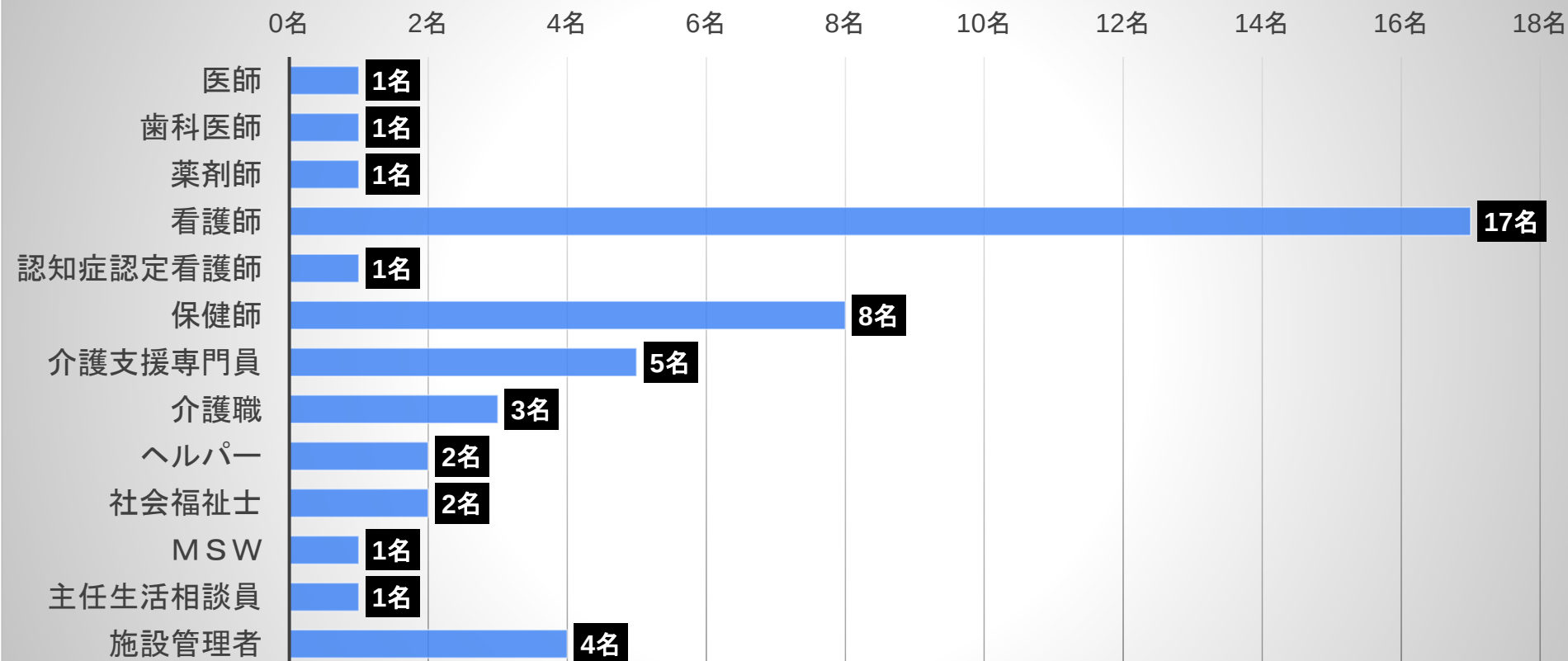
Q 1 - 2 : 年齢



研修会参加者数 51名
アンケート回答者数 37名
回収率 72.5%

資料 1 - 2

Q 1 - 3 : 職種 ※

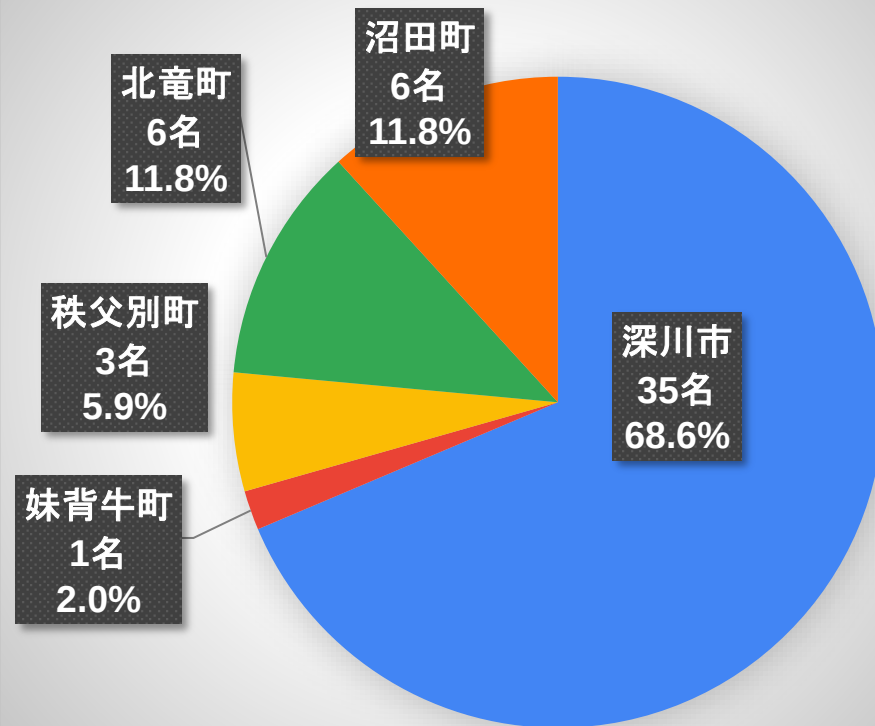


令和6年度 認知症研修会(R7.2.4) 参加者アンケート集計結果

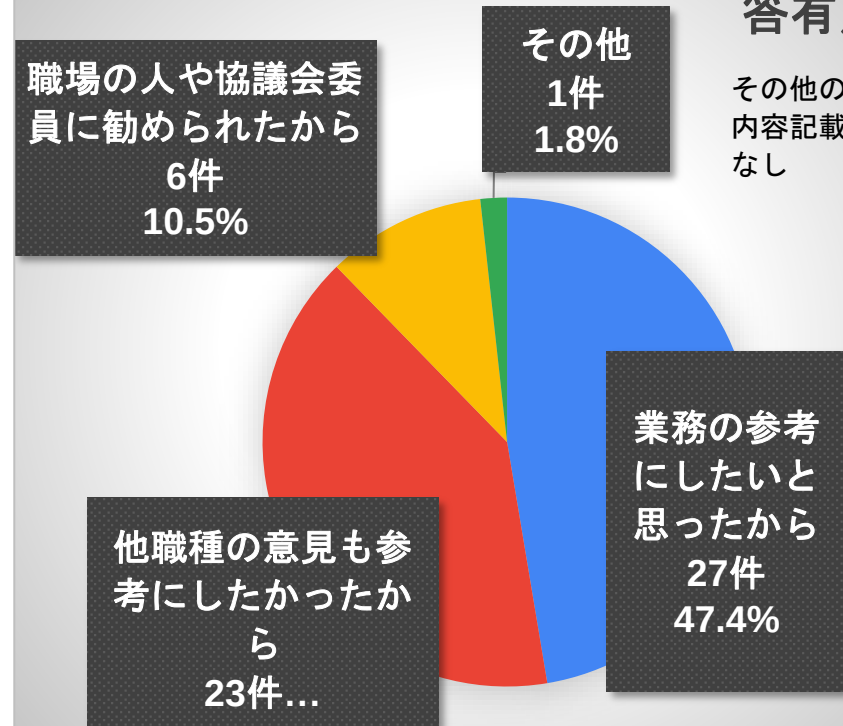
行政職

4名

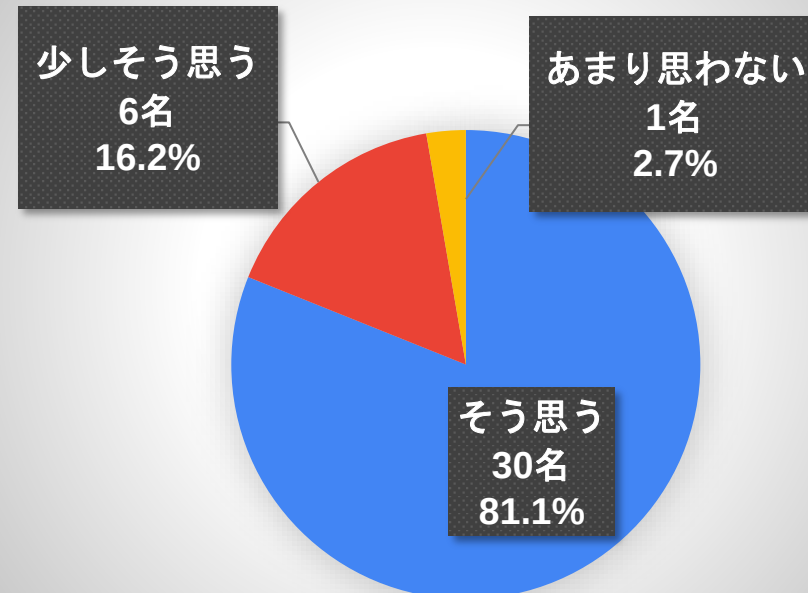
Q 4 : 勤務先 ※



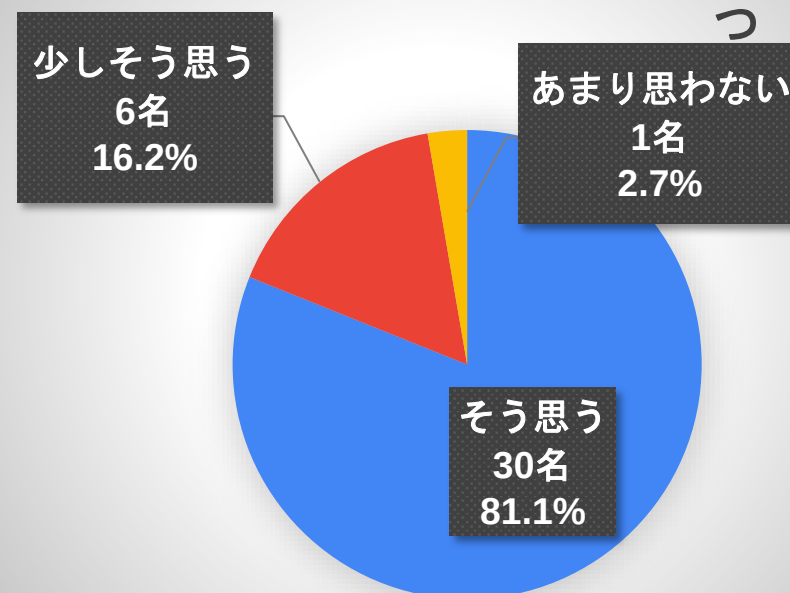
Q 2 : 参加のきっかけ (複数回答有)



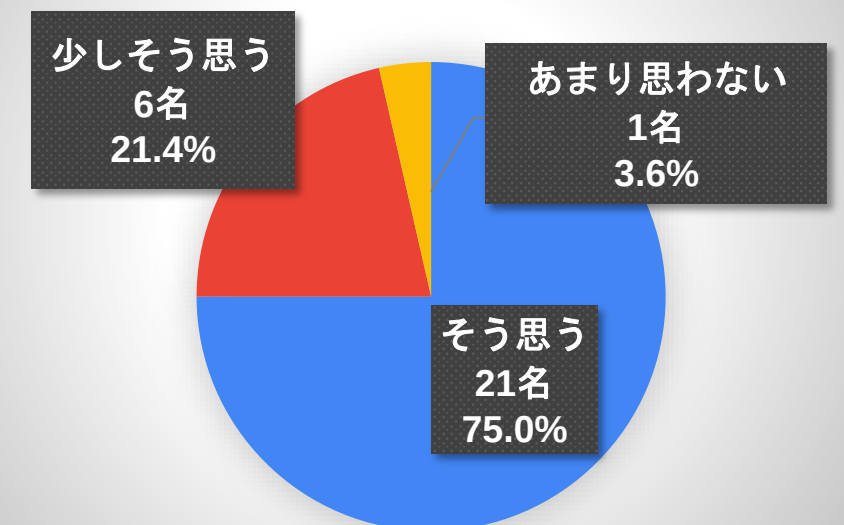
Q 3 - 1 : 有意義だった



Q 3 - 2 : 今後の業務等に役立つ

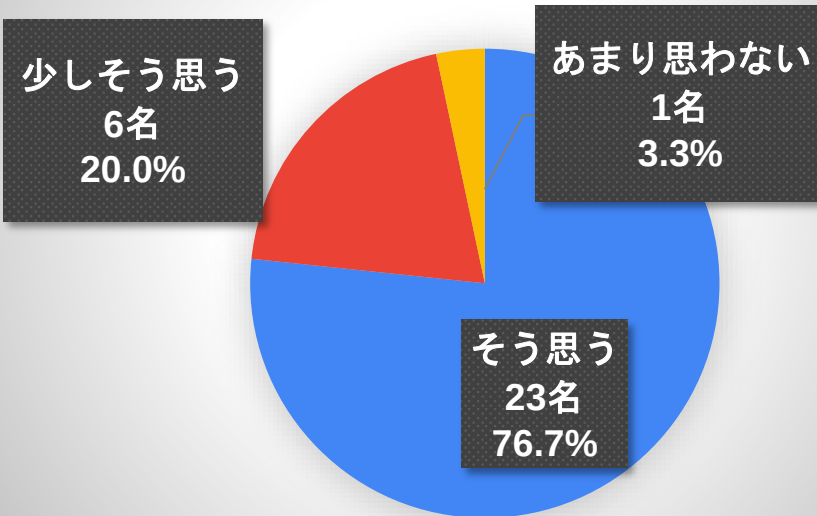


Q 3 - 3 : 講話をもっと聞きたかった

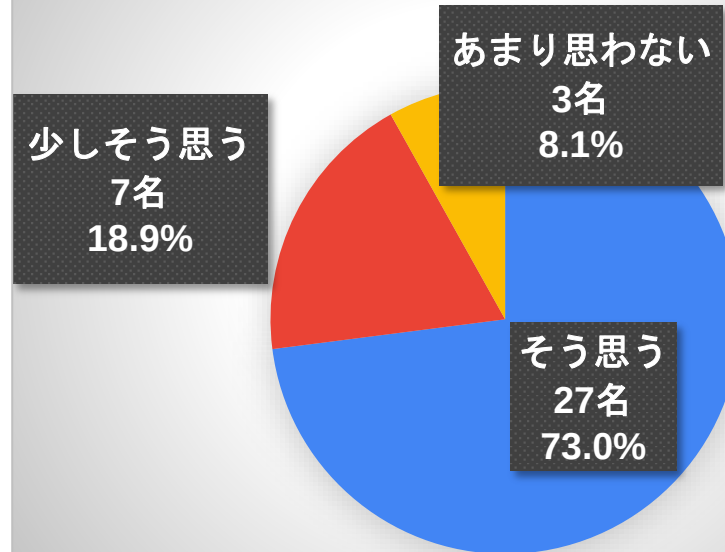


令和6年度 認知症研修会(R7.2.4) 参加者アンケート集計結果

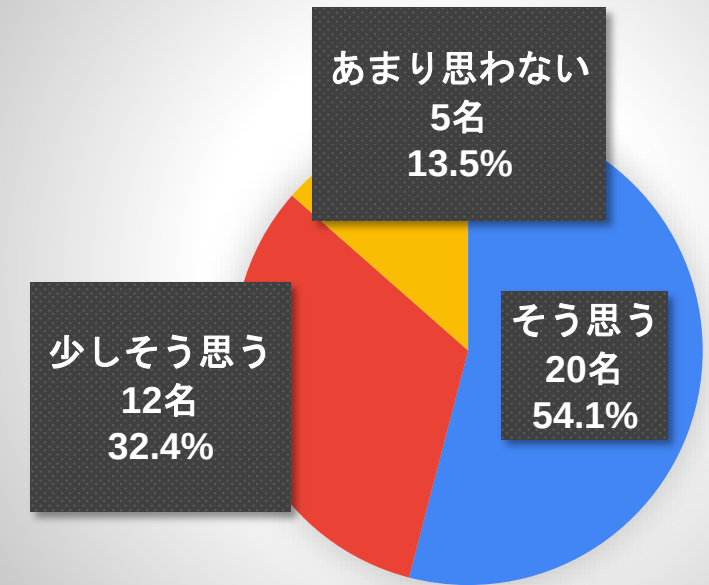
Q 3 - 4 : 事例検討をもっとした
かった



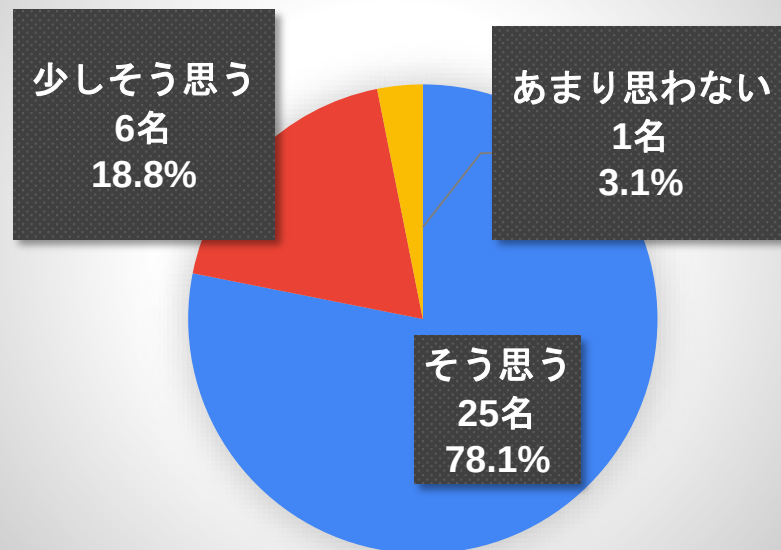
Q 3 - 5 : 開始時間は適切だった



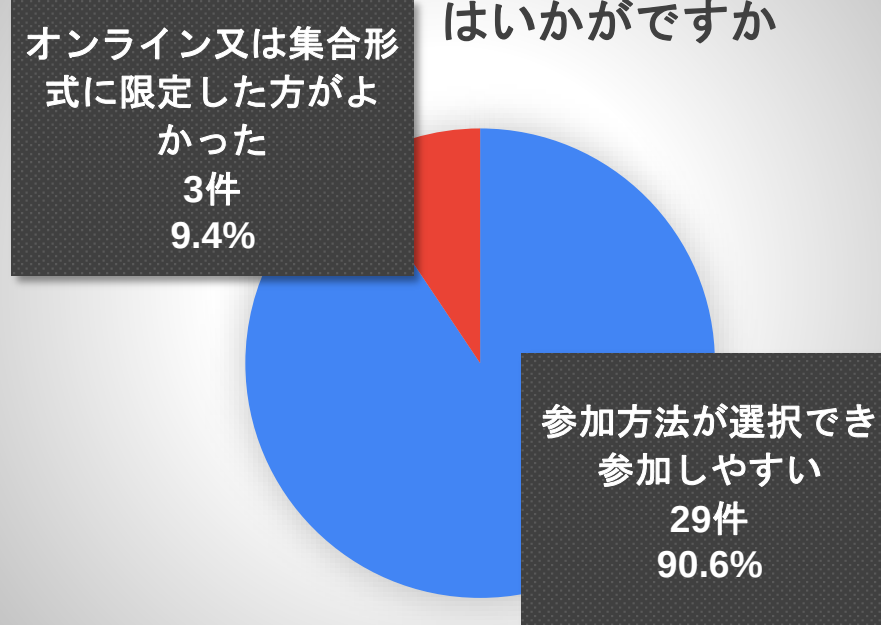
Q 3 - 6 : 時間配分は適切だった



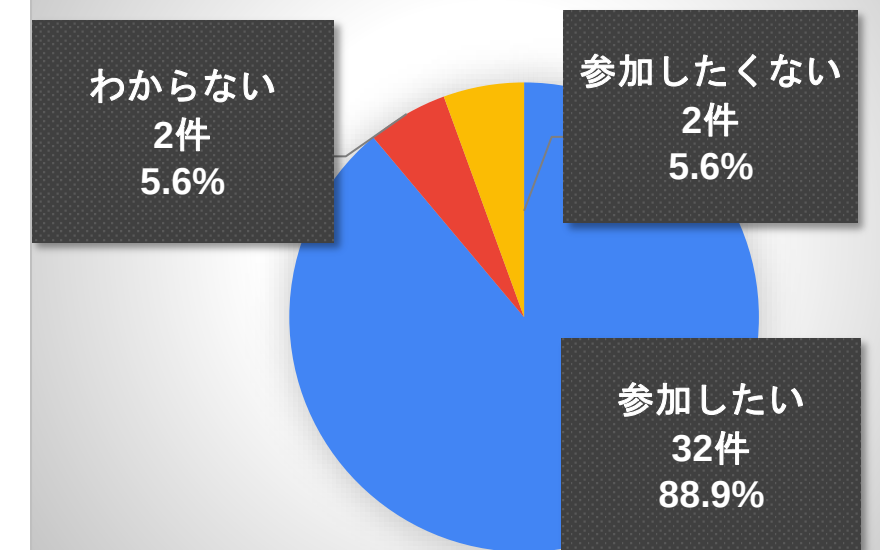
Q 3 - 7 : 持ち込みで事例検討が
できてよかった



Q 4 : ハイブリッド形式の感想
はいかがですか



Q 5 : 同様の研修があれば再度
参加したいと思いますか



令和6年度 認知症研修会(R7.2.4) 参加者アンケート集計結果

Q 3 - 1 : 有意義だった 理由
☐ そう思う
色々な職種の意見がきけた
他職種の話をきけてよかった
同じ様な悩み、困りごとを共感できて良かった。
抱えているケースのHP関係者と事例を共有できた
☐ 少しそう思う
もう少しじっくり聞きたかった
施設でも同じ問題をかかえていることがわかった
☐ あまり思わない
専門職が多い中で、疾患理解を細かくは不要ではないか。市民講座ならよいが
総計

Q 3 - 3 : 講話をもっと聞きたかった 理由
☐ そう思う
先生の講話は大変勉強になり新たな知識習得です
☐ 少しそう思う
深川市の地域ではどうなのかもっとくわしくききたかった
☐ あまり思わない
対象理解の視点の方が役立つと思われる。
総計

Q 3 - 5 : 開始時間は適切だった 理由
☐ あまり思わない
(空白)
☐ そう思う
(空白)
☐ 少しそう思う
(空白)
総計

Q 3 - 6 : 時間配分は適切だった 理由
☐ あまり思わない
(空白)
☐ そう思う
(空白)
☐ 少しそう思う
(空白)
総計

4. ハイブリッド形式の感想はいかがですか 理由
☐ 参加方法が選択でき参加しやすい
業務時間の関係や特に冬季は移動時間などの関係で会場に行けない方もいるため時間外の研修なので、多くの人に参加してもらうためにはこの形が良いと思いました。時間内であれば、集合研修に参加したいです。
昔は集合形式、それが当たり前で何とも思わず参加していましたが、Z o o mをするようになってから移動時間にとらわれたりせず参加できるので、選べるのはとても良いです。ただ、ハイブリットは音声の関係等、少し難しい面もあると思いますが、それも含めて慣れてきました。
☐ 参加方法が選択でき参加しやすい、オンライン又は集合形式に限定したほうが良かった
音が聞こえないところがあり残念だった。
総計

7. 全体的なご意見・ご感想など
いつもありがとうございました。次回もよろしくお願い致します。
いろんな話がきけてよかったです
グループワークで話ができて楽しかったです
スライドの準備を事前においてほしかった。時間がもったいない
院内だけでなく、地域の話聞いて良かった
高齢者の運転は難しい課題ですが、事故予防のためには 認知機能の状況をしっかり見極める必要があると思います。 よい質問があったので、その点を深めていただけたらと思いました。
専門医からの話が聞けて良かった。
専門職が集まっているのであれば、もっと実務や現場の困り感から地域課題がみえるとうい
多職種で連携をとりながら地域の方々の生活を守ってあげたいです
有意義なグループディスカッションができました。
総計

Q 3 - 2 : 今後の業務等に役立つ 理由
☐ そう思う
この様に対応しているという具体策がきけて参考になった
☐ あまり思わない
対象理解の視点の方が役立つと思われる。
総計

Q 3 - 4 : 事例検討をもっとしたかった 理由
☐ そう思う
また、事例検討では、皆共通する課題を持っており、これと言った解決案はなくても情報の共有や業務に活かされる話し合いができました。グループ内でもう少し意見を出し合うことで、何等かの違う視点での考え方がうまれると思います。
時間があっという間だった
事例検討の時間が十分ではなかったと思いました。せっかくなので、いろいろな意見を十分に聞けたらよかったと思いました。
時間が短く事例検討というよりは、事例紹介で終了してしまったため
総計

Q 3 - 7 : 持ち込みで事例検討ができてよかった 理由
☐ そう思う
事例を用意してくれていた方がグループ内にいたため、スムーズな検討ができた。一つの話から情報共有でき、有意義だった。
☐ 少しそう思う
1事例しかできなかった
事前に職場内で、事例を意見集めればよかった
☐ あまり思わない
検討時間が短いため
総計

6. 今後、認知症に関連した専門職などから聞いてみたい話
意思決定支援
支援拒否に対する具体的な方法。独居の限界ライン。在宅支援をしている方の経験談、うまく対応できた事例。
治療が困難なPtに対する対応、Drとの関わり
症状に合った対応の仕方
身体拘束の取り組みについて
地域で、いかに認知症の患者さん、ご家族をサポートするのが良いか
認知症に関連する内容だけではなく地域の高齢化の課題全体を話合えるとよい（免許返納や移動の問題など）
認知症状に合わせた対応をもっと知りたい。
薬の内容(認知症に関する)を分かりやすく説明した研修会を開催してほしいと感じました。
総計